

平成 2 5 年度第 1 1 回定例会

八王子市教育委員会会議録

日 時 平成 2 5 年 1 0 月 1 日 (火) 午前 8 時 4 5 分
場 所 八王子市役所 7 階 7 0 2 会議室

第 1 1 回定例会議事日程

1 日 時 平成 2 5 年 1 0 月 1 日 (火) 午前 8 時 4 5 分

2 場 所 八王子市役所 7 階 7 0 2 会議室

3 会議に付すべき事件

第 1 八王子市教育委員会委員長選挙

第 2 八王子市教育委員会委員長職務代理者の指定

その他報告

八王子市教育委員会

出席委員 (5 名)

委 員 長	(1 番)	小田原 榮
委 員	(2 番)	和 田 孝
委 員	(3 番)	星 山 麻 木
委 員	(4 番)	金 山 滋 美
教 育 長	(5 番)	坂 倉 仁

教育委員会事務局

教 育 長 (再 掲)	坂 倉 仁
学 校 教 育 部 長	野 村 みゆき
学校教育部指導担当部長	相 原 雄 三
教 育 総 務 課 長	小 林 順 一
施 設 管 理 課 長	岡 功 英
保 健 給 食 課 長	森 田 聖 二
教 育 支 援 課 長	穴 井 由美子
指 導 課 長	細 井 東
教 職 員 課 長	廣 瀬 和 宏

統括指導主事	山下久也
統括指導主事	山本武
生涯学習スポーツ部長	天野克己
スポーツ振興課長	立川寛之
スポーツ施設管理課長	橋本徹
学習支援課長	新井雅人
文化財課長	田島巨樹
こども科学館長	牛山清志
国体推進室長	富貴澤繁幸
生涯学習センター図書館長	中村照雄
川口図書館長	福島義文
指導課指導主事	菅野直博

事務局職員出席者

教育総務課主査	遠藤徹也
教育総務課主任	川村直
教育総務課臨時職員	山崎美香子

【午前 8 時 4 5 分開会】

小田原委員長 大変お待たせいたしました。本日の委員の出席は 5 名全員でありますので、本日の委員会は有効に成立いたしました。

これより平成 2 5 年度第 1 1 回定例会を開会いたします。

本市では夏の省エネに全庁を挙げて取り組んでいるところでございます。本定例会におきましても出席者は軽装とさせていただいております。また、照明は一部消灯して実施いたしますので御理解いただきますようお願いいたします。

なお、平成 2 5 年 9 月 3 0 日をもちまして任期満了となりました川上剋美委員の後任の委員といたしまして、星山麻木氏が過日審議会の同意を得まして、本日、市長から教育委員の任命を受けたところでございますので、御報告申し上げます。

議席番号につきましては、八王子市教育委員会会議規則第 5 条第 2 項によりまして、前任者の議席番号となりますので 3 番となります。

それでは、新たに教育委員に就任されました星山委員から、御挨拶いただきたいと思っております。どうぞお願いいたします。

星山委員 新しく教育委員に就任しました星山と申します。よろしく申し上げます。

私はもともと教員の出身で、子どもが好きで、教育に携わって約 3 0 年になります。八王子でいろいろお仕事をさせていただいて、教員やこちらのいろいろな方との御縁があって今回教育委員をお引き受けすることとなりました。微力ではございますけれども、お力になれるよう、いろいろなところで頑張っていけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小田原委員長 どうもありがとうございました。

それでは、日程に入ります前に、本日の会議録署名員の指名をいたします。

本日の会議録署名員は、4 番、金山滋美委員を指名いたします。よろしく申し上げます。

小田原委員長 それでは、日程に従いまして進行いたします。

日程第 1 八王子市教育委員会委員長選挙を行います。

本件は、明日、1 0 月 2 日をもちまして、委員長の任期が満了となりますので、委員長選挙を行うものでございます。

選任の方法につきましては、八王子市教育委員会会議規則第 6 条の規定により、単記

無記名投票とし、有効投票最多数を得た者ものを当選者といたします。ただし、最多数を得た者が二人以上ありますときには、これらの者につきまして投票することといたします。

それでは、事務局から投票用紙を配布願います。

〔投票用紙配布〕

小田原委員長　それでは、記入をお願いいたします。

〔投票・開票〕

小田原委員長　それでは、委員長選挙の結果を御報告いたします。

1番、小田原委員、4票。2番、和田委員が1票でございます。ということで、私、1番、小田原榮が引き続き委員長を務めることとなりました。

委員長の任期は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第2項の規定によりまして1年とされておりますが、委員としての任期が平成26年9月30日までであるため、委員長としての任期は平成25年10月3日から平成26年9月30日までということになります。

それでは、再任に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

再任ということになりましたけれども、引き続きどうぞよろしくをお願いいたします。

中央教育審議会では、教育委員会のあり方について、審議がされているところですが、流れとしては、教育長を中心とした委員会になりまして、このような委員会は審議会の中心なのではないかという感じがいたします。

全国的な委員会の流れを追認した形だと思っておりますので、校長会の連絡会でも申し上げましたが、あまり驚くことではないと思っております。

引き続き、委員会は委員会として、事務局は事務局として、鋭意新しい制度に向けて力を蓄えていただきたいと願っているところでございます。

いろいろ御迷惑をかけますが、どうぞよろしくお願いいたします。

小田原委員長　ということで、引き続き、日程に従いまして進行いたしてまいります。

次に日程第2　八王子市教育委員会委員長職務代理者の指定でございます。

指定の方法につきましては、八王子市教育委員会会議規則第7条の規定により、委員長選挙の方法を準用いたしますので、無記名单記投票といたします。

それでは、事務局から投票用紙を御配布願います。

〔投票用紙配布・投票・開票〕

小田原委員長　それでは、ただいまの投票の結果を御報告申し上げます。

委員長職務代理者選挙の結果、4番、金山委員、4票。2番、和田委員、1票ということでございます。ということで、4番、金山委員を委員長職務代理者として指名いたします。

それでは、金山委員から御挨拶をいただきます。

金山委員　ただいま御指名いただきました金山です。川上先生の後を継いで委員長職務代理者という大役に指名されましたが、まだまだ力不足だとも感じております。今後とも皆さんのお力を借りして、何とかこなしていけたらと思っておりますので、どうぞよろしく願いたいします。

小田原委員長　どうもありがとうございました。

小田原委員長　本日予定された日程は以上ですけれども、何か報告する事項等がございますか。

野村学校教育部長　国体推進室長から御報告があります。

富貴澤国体推進室長　第68回国民体育大会につきましては、9月28日に調布市にある味の素スタジアムで開会式を挙行いたしました。八王子市の開催競技は9月29日から、体操、自転車、ゴルフ、高等学校野球硬式で、4競技6会場で開催が始まっており、本日ににつきましては、雨天の関係で、高校野球競技が2時間遅れの開催となっておりますが、それ以外については順調に行っております。

運営に当たりましては、市の職員を導入しております。本日の定例会を欠席している管理職がありますが、大会運営に従事しているためですので、御了承をお願いいたします。

教育関係のお話をさせていただきますと、会場の装飾として、「花いっぱい運動」で小学校の児童が作った花、それと横断幕、のぼり旗の掲出をしております。それとサッカー競技につきましては、小学生がエスコートキッズとして試合の際に選手と共に入場いたしました。それと、学校観戦という形でサッカー等の観戦を実施いたしております。多くの子どもたちにアスリートの活躍を見ていただき、その姿に感動してもらうという機会を設定しております。

報告は以上でございます。

小田原委員長 国体推進室長からの御報告ですが、何か御質問等がございますか。

金山委員 お疲れさまです。開会式を見せていただきまして、素晴らしい開会式で感動しましたので、オリンピックの開会式はどれほどのものだろうと思いながら帰ってまいりました。

会場や周辺を見ていてセキュリティーの管理がすごく大変だと思いました。私たちが入場するまでにもかなりチェックが厳しく、警察車両もかなりの台数が来ておりまして、スポーツイベントはターゲットになりやすいということも聞きますので、今回もそうした点にも気を使いながら開催なさっているのだと、皆さんの御苦労が忍ばれました。

子どもたちがたくさん見に行ってくれているということで、エスコートキッズも楽しそうでしたし、後日定例会で参加した学校の数などを御報告いただけたらと思います。よろしく願いいたします。

小田原委員長 ということですが、そのほか、いかがですか。

和田委員 八王子市内だけではないですけれども、競技は自由に行って観戦できるものなのでしょうか。

富貴澤国体推進室長 観戦については自由にできます。ただ、高校野球競技につきましては有料競技となっております。また、会場の収容人数を超えた場合は入場制限があります。

教育委員は、国体の実行委員会委員ですので、大会関係者として入れますので、よろしく願いいたします。

小田原委員長 私は野球の関係で、一昨日、八王子市民球場に行きましたが、有料でも見に来ている方が非常に多く、最も多いときで1万人入ったそうですが、八王子の各会場においては、それぞれ駐車場の確保がやはり課題であると思います。特にゴルフ会場の話を伺うと、どうするべきかという話でした。昨日は第七小学校の子どもたちが見に来ていまして、遠くから見ていると遠足のように非常にほほ笑ましい感じがいたしました。

今日は雨なので、試合ができるのかわかりませんが、今日、明日が天気なら、観戦を予定されている学校もあるそうです。

この間の市民体育大会の開会式のときにもありましたけれども、今回も球場だけではなく、他の会場にも、子どもたちが応援メッセージを書いて、貼ってありました。市民体育館にも同じような応援のメッセージが貼ってあり、それを見た人たちは非常に心温まる感じがするとおっしゃっていました。競技に話を戻しますが、観戦することは子ど

もたちに夢と感動を与えるので、できるだけたくさんのおもたちに観ていただきたいです。

高校野球でいえば甲子園のベスト8以上が試合をするので、そうした高いレベルの技術や動きなどを観る機会はそう多くないことですし、アスリートの一生懸命な姿に接するということは、おもたちにとって非常にいい影響、あるいは思い出になることですので、せっかくの機会だから、学校単位でそういうところへ出かけて行ければいいと思いました。

それと、この国体で八王子市は6競技を受けていますが、その影響は非常に大きいと思います。タクシーがよく使われていたり、街の買い物客が増えていて、商店主も喜んでいて、昨日、商工会議所の会頭から伺いました。これがオリンピックになったら、相当の影響はあるはずということです。

いろんなイベントを、八王子市が受けていけば、街の活性化にもつながりますし、おもたちも夢や希望が広がっていくのではないかという感じがします。

また見ていて、職員の皆さんの御苦労はよくわかるのですが、報われることも大きいと思いますので、あと数日ありますけれども、御努力、御尽力をどうぞよろしく願いいたします。

それでは、国体関係の報告は以上ということでよろしいですか。

そのほか、何か報告する事項等がございますか。

野村学校教育部長 特にございません。

小田原委員長 委員の皆さんで何かございませんか。

和田委員 昨日、一昨日の2日間にわたり、大学の仕事で気仙沼へ行ってまいりました。

伺った小中学校はいずれも大きな被害を受けていて、いまだに復興がほとんど進んでいないという状況で身につまされると言いますか、非常に悲しい思いをして帰ってきたところですが、その前の土曜日に、ある運動会で、中学校の先生が、自分の学校にも福島から避難をしたおもたちが二人いるというお話を伺いました。

八王子で受け入れられているおもたちが、どんな状況なのかということも、機会がありましたら教えていただければと思っています。よろしく願いいたします。

小田原委員長 震災時は被災地から避難したのおもたちが何名ということをよく耳にしましたが、現在も人数は把握しているのですか。

穴井教育支援課長 資料がないので人数はわかりませんが、まだ相当数、八王子市の学校

に来ています。

当初、教育相談で、心理的なケアを継続的に親御さん、あるいはお子さんにしてきたのですが、心理士によりますと、2年、3年と経過していくうちに大分落ちついて、馴染んできているそうです。また、福島に戻られる家庭も何世帯かございました。

東京都からも就学援助について、当初は希望があれば皆さんに援助していたのですが、そろそろ自立に向けて、きちんとした所得把握などもするようにと指示を受けており、すでに始めているところです。

小田原委員長 和田委員にお伺いするのですけれども、被災直後は八王子市からも、応援に行っていたわけですが、その直後のひどさからだいぶ収まっている状況を知らないで、2年、3年経過してから大変だと言うと、とても失礼になるのではないかという感じもするのですが、そういうことはないのですか。

和田委員 一つは、あの場所に立ってみて、私は写真を1枚も撮れませんでした。

いろんな傷跡などが残っている中で、防潮堤の整備や次の生活に向けた準備が整っていない中で、これから何をしていかなければならないのか、これからどう取り組んでいくのかについては、やはり積極的に感想を交えて発言していかなければいけないと思っています。

いかにもいろいろ言うのと失礼に当たるかもわかりませんが、一緒になってやっていくという思いは、持ち続けていかなければいけないのではと思っています。

小田原委員長 ということですが、この件に関して、何かございませんか。

坂倉教育長 恐らく最低限の、復旧というところは終わったと思うのですが、復興は全く手つかずというのが実態だと思います。多くの自治体の職員が応援に行っているのですけれども、例えば区画整理一つやるにしても、地権者の確定ができないなどの理由で、まだ手つかずの状態という意味では、今も復興が遅れて大変だということです。こちらでもできることをやらなければいけないと思いますし、引き続き援助していくことは必要と思っていますし、また行っていく予定です。

和田委員 私の伺った中学校には、2校の小学校から子どもたちが来ています。

そのうちの一つの小学校は被災し、今も校舎もない状況です。もう一校は少し高台にあり、全員が無事でした。元の学校で勉強ができるようになるまで、一時的に別な学校に通っていた子どもたちが、現在、元の小学校に転校という形で戻ってきています。しかし進学する中学校は、校庭の半分に仮設住宅が並んでいるという状態なのです。小学

校の校長先生がおっしゃられていたのは、被災した子どもたちの精神状態が非常に不安定で、まだ予断を許さない状況にあるということと、それから、来年以降、入学する子どもたちがどういう体験をしているのかということ、しっかり学校が受けとめていかないと、子どもたちの気持ちをケアしたり、被災しなかった子どもたちとの交流を進めていくことができないというような、今後のことを非常に心配されていました。

また併せて、保護者の方も精神的、経済的に立ち直っていない、そういう中で、子どもたちを受け入れていくという学校の厳しさというものを話されていたのですが、形の上では、どんどん「復旧」が「復興」となるところもあると思うのですが、人間の成長の中で経験したことについては、回復していくのはなかなか難しいのだろうというのを、校長先生の話の伺って感じましたので、八王子市に避難してきた被災地の子どもたちも、どんな体験をしてきたかわかりませんので、そういう点では長い目で見ていて、こちらでも関わっていかねばいけないと思いました。

金山委員　私は昨年、女川町の学校を視察させていただきました。やはり町の中心部、津波で被災したところは全く何も無い状態で、まだそのまま放置されている状態でした。

被災した子どもたちの仮設住宅は町外れにあるので、学校では朝晩、送迎バスを出しているということでしたが、それでも、被災地から離れていく人が多いため、子どもの数はどんどん減っていて、中学校を3校から1校に統廃合するという話をお聞きしました。

また、保護者が精神的、経済的に立ち直っていないという話は、視察先でも話を聞きました。

「震災うつ」という言葉もあるそうです。震災で、お母さんが亡くなられたお子さんもいらっしゃるという話も聞きましたので、傷が癒えるには、まだまだ時間がかかると感じました。

ちなみに、日本PTAが募金を集めて、震災で保護者を亡くされたお子さんに支援金を出すことに決定したのですが、教育委員会を通じて各学校の先生方に取りまとめでいただくことになると思いますので、身近に震災遺児の方がいましたら積極的に、使っていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

小田原委員長　月日が経つと、忘れられ、風化されてしまいますが、震災直後の「がんばろう」とか「つながろう」と皆で復興に力を尽くしていた意識が薄れてしまうのが心配です。今のお話を伺いながら、被災地に訪ねていくことも大事だと思いました。それと、

被災地まで行かなくてもできることは何かを考え、そこに力を向けていくことも必要だ
と思いますので、私たちのできることを、見つけながら進んでいただきたいと思います。

そのほか、何か報告する事項とかはありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小田原委員長　では、特にないようでございますので、以上で本定例会の議事日程は全て
終了いたしました。これをもちまして本定例会を終了いたします。ありがとうございます
した。

【午前9時16分閉会】